



**観光のゲートウェイ施設に
道の駅大歩危が重点道の駅認定**

3月7日、三好市役所において重点道の駅の認定証授与式が行われ、四国地方整備局より道の駅大歩危の重点道の駅認定証が授与されました。

重点道の駅とは、地方創生の核となる特に優れた道の駅を国土交通省が選定し重点的に応援する取り組みで、道の駅大歩危は、祖谷や大歩危などの観光資源の玄関口として急増するインバウンドに対応した観光拠点としての案内機能強化や周遊滞在型観光整備が今後さらに図られていく予定です。



**7社目のサテライトオフィス誕生
株式会社ビヨンド四国オフィスが開設**

池田町の旧政海旅館に、三好市では7社目のサテライトオフィスとなる株式会社ビヨンド四国オフィスが開設され、3月1日に開所式が行われました。

株式会社ビヨンド（代表取締役 原岡昌寛）は本社を大阪市浪速区に構えるサーバー、システム開発、Webサービスを展開する、いわゆるIT企業で自社では初めてとなるサテライトオフィスを三好市に開設することになりました。

株式会社ビヨンドの開設で三好市に今までになかった仕事が生れました。



**沿線各駅で祝いの輪広がる
観光列車で結婚披露宴**

3月26日、JRが運行する観光列車四国まんなか千年ものがたりの車内で結婚披露宴が行われました。

式を挙げられたのは香川県と福岡県のカップルで、旅行が趣味の二人は旅にまつわる披露宴がしたいとJR四国に依頼をして実現したそうです。

沿線や停車駅では新郎新婦を祝おうと様々な歓迎行事が行われ、JR阿波池田駅では、三好長慶実行委員会の鎧武者が出迎えたり、たばこ踊りや阿波踊りを披露したりして祝福しました。



最優秀賞に「秋の秘境」(表紙に受賞)
第6回千年のかくれんぼフォトコンテスト
(作品を掲載)



最優秀賞を受賞された篠原さん(四国中央市)

三好市の風景を対象とした千年のかくれんぼフォトコンテストの表彰式が3月21日、かずら橋夢舞台で行われました。

今回で6回目を迎えるコンテストには市内外から564点の応募があり、最優秀賞には、紅葉で周囲が色づき、祖谷川の水面には青空と橋が映り込んだ幻想的なかずら橋を捉えた篠原安吉さん(四国中央市)の「秋の秘境」が選ばれたほか、33点の写真が入賞しました。入賞作品は今後観光パンフレットなどに活用されるほか、4月下旬まではパネルが「かずら橋夢舞台」で展示されます。

また表彰式終了後には、審査員を務められた写真家の宮武健仁さんによる写真撮影会がかずら橋周辺ほかで開催され、参加者は宮武さんから写真撮影のコツなどを学んでいました。



参加者に撮影のコツを伝授する宮武さん

100才おめでとうございます



田岡ハナエさん(三野町太刀野)

3月9日、田岡ハナエさんが100歳を迎えられ、県や市から祝い状や記念品が贈られました。

田岡さんは、4人の子供を育てられ、駄菓子屋を営むご主人と結婚され販売のお手伝いをしたり、木のおもちゃを作る会社にも勤められたりしていました。現在は、市内の老人ホームに入所され、毎日の食事もしっかり取られており、特に飴やパンなどの甘いものが好きだそうです。この日は、ご家族、利用者や職員の方々から色紙や花束などで祝福され、笑顔で「今日はありがとうございます」と言っておられました。これからもお元気で過ごしてください。



**手話でのコミュニケーションを学ぶ
三好市手話に関する講演会**

3月8日、三好市保健センターにて手話に関する講演会が開催され、約60人の出席者がありました。

NPO法人徳島県聴覚障害者福祉協会の平光江さんによる講演では、現在に至るまでの活動や課題に対する取り組みについての講演があり、参加者からも、日ごろの生活を送るうえで困ったことなどの事例が出されました。

その後「手話を覚えよう」の時間では、手話通訳士の戎協子さんから、実際に果物やスポーツなどをその物のイメージから手話につなげるなど、日常生活で使える簡易な会話を手話で表現する方法などを学びました。

最後は、参加者が隣の人たちと手話を通じてコミュニケーションを図ろうと熱心に教えあったりして、笑顔があふれる充実した時間となりました。



**五穀豊穡を願い百手奉納
白山神社春祭り**

山城町上名の白山神社で、3月29日に春祭りが行われ、百手の神事が行われました。境内には氏子から選ばれた射児土14人がかみしも姿で登場し、神事後、80cmほどの的に向かって交代で1008本の矢を放ちました。

市内数か所の神社で行われる百手は、1008の矢を奉納し五穀豊穡や里内平穏などを祈願する春の神事です。

無事に矢を打ち終わった後には、小的と呼ばれる直径10cmほどの的を競って狙い、見事射抜いた時には観客から大きな歓声があがっていました。



**男女共同参画社会の実現を
基本計画(第3次)答申を策定**

三好市では男女共同参画社会の実現のため、2019年度から5年間の基本目標、主要課題、施策の方向を定めた「三好市男女共同参画基本計画(第3次)」を策定しました。

8人の委員で構成する策定委員会を代表して、向井ひろみ副委員長から3月27日に市長に対して答申と計画が提出されました。

男性にとっても女性にとっても生きやすい社会を創り、市民が豊かで健やかに暮らし、地域が活気に満ちあふれるようこの計画を着実に推進していきます。



**祝福に包まれ学び舎巣立つ
馬路小1人だけの卒業式**

3月15日、三好市立馬路小学校で卒業式があり、ただ1人の卒業生である谷侑磨くんをみんなで送りました。

全校児童5人の馬路小学校は、児童が少ない分、兄弟のようにみんな仲良しで、式ではスキー学習や陸上の練習、水泳大会などの学校生活を振り返り、別れの寂しさに在校生もたくさん涙を流しましたが、最後はみんなで一緒に写真を撮って、笑顔で谷くんを送りました。

来年度は1人の新入生が入学予定とのこと、谷くんの中学校生活とともに新しい馬路小学校も今から楽しみです。